

Case 7

町田市保健所保健予防課との食育連携事業

まちだすいとんの普及および食育推進に関する取り組み

生活共創学部 生活共創学科 / 現代生活学部 食物学科

令和7年8月 町田市と食育推進に関する連携協定を締結

令和7年8月1日、本学と町田市が人的・知的資源の交流と活用を図ることで、市の食育事業を推進させるとともに大学の教育・研究を充実させ、地域社会の発展に寄与することを目的として食育推進に関する連携協定を締結しました。

これまでも市の食育の課題である市民の野菜摂取量の増加や減塩の取り組みについて、学生が提案したレシピの提供等、連携した食育推進事業を実施してきました。更に食に関心が低い若い世代への普及啓発の取り組みについて効果的に実施していくため、連携協定を締結いたしました。

連携によるおもな取り組みは (1)望ましい栄養・食生活の推進に関与すること (2)食を通じて地域と繋がるための支援に関与すること (3)食に関する環境の整備に関与すること としました。

町田市地域の味であるまちだすいとんに着目し、第1弾としては、シダックス株式会社のお力をお借りして、本学学生食堂での提供、第2弾としては、本学食物学科調理学研究室の食育料理教室での実施、第3弾として、本学学園祭KVA祭でのお料理サークルによる提供を行いました。

望ましい栄養・食生活の推進および食に関する環境の整備に関すること

望ましい栄養・食生活の推進および食に関する環境の整備に関することとして、シダックス株式会社のご協力により7月22日・9月25日に30食限定の定食形式でまちだすいとんの提供を行いました。町田市の野菜として、生活共創学科石綱先生と学生さんが授業で育てたナスをご提供いただきました。早い時間に完売し、大盛況となりました。

町田市
Press Release
町田市広報課 TEL.042-724-2101

プレスリリース【2025年8月1日】 (計1枚)

東京家政学院大学と町田市が食育推進に関する連携協定を締結します

市は、東京家政学院大学と連携して食育推進事業を実施するため、連携協定を締結します。

- 実施の背景
今までも、市の食育の課題である市民の野菜摂取量の増加や減塩の取組について、東京家政学院大学から、学生が考案したレシピを提供していただく等、連携した食育推進事業を実施してきました。さらに、食に関心が低い若い世代への普及啓発の取組について効果的に実施していくため、連携協定を締結いたします。
- 協定の名称
食育推進に関する連携協定
- 協定締結日
2025年8月1日(金)
＜学生提供レシピ・ヤムワンセン＞
- 協定締結先
東京家政学院大学（東京都町田市相原町2600番地）
- 協定の目的
市と東京家政学院大学が、人的・知的資源の交流と活用を図ることで、市の食育事業を推進させるとともに大学の教育・研究を充実させ、地域社会の発展に寄与することを目的とします。
- 連携による主な取り組み
(1) 望ましい栄養・食生活の推進に関すること
(2) 食を通じて地域とつながるための支援に関すること
(3) 食に関する環境の整備に関すること
- 実施予定事業
(1) まちだすいとん普及に関する取り組み（学生食堂・学園祭での提供等）
(2) 食育推進に関する取り組み（大学の講座・ワークショップ等）

■本件に関するお問い合わせ先
保健所 保健予防課長 福島 TEL.042-725-5422



学食 7月22日 \ 30食限定 /
special lunch

まちだすいとん 500 (税込) 円
ごはん・小鉢(コロッケ)付

「まちだすいとん」とは？
町田市では、「まちだすいとん」の普及により、町田の地域の味としての伝承と町田産野菜の普及啓発、並びに野菜摂取量の増加をめざしています。

特徴
その1、農産物の産地産直品を使用します。ただし、こぼし液が強いため使用しません。その2、長年今の価格の半分まで値落なく安い、よく使えます。その3、すいとんは、中力粉(地粉)を使い、よくこねて、薄く引っ張ってちぎった平たい形をしています。

※まちだすいとんのレシピ開発・普及に、調理学研究室(米澤先生)が関わっています
※今回は、学生が考案したレシピ、中力粉ではなく中力粉が入っています
東京家政学院大学と町田市保健所では「食育」について協力して取り組んでいます

若い世代への普及啓発の取り組み

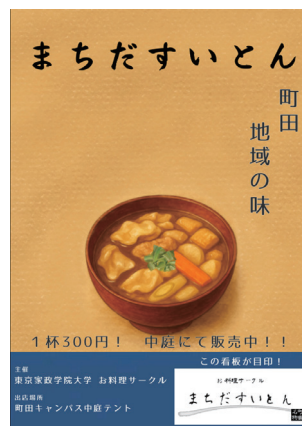
若い世代への普及啓発の取り組みとして、本学近隣の小学生を対象に行った食育料理教室のなかで、まちだすいとんを取りあげました。



参加小学生は、まちだすいとんのことを知りませんでしたが、自分たちでこねたすいとんを楽しそうにちぎって鍋に入れ、完成後の試食の際には、「いつもは食べられない野菜も食べることができた！」と教えてくれました。

食を通じて地域と繋がるための支援に関与すること

食を通じて地域と繋がるための支援に関与することの一環として、生活共創学科1年生のお料理サークルの学生が中心となって、KVA祭でのまちだすいとんの提供を行いました。サークルの学生は何度も試作を重ね、お料理サークルオリジナルのレシピを作成しました。



プロジェクト概要

- パートナー
町田市食育推進委員会
町田市保健所
シダックス株式会社
- 担当教員
生活共創学部
生活共創学科 食科学コース
現代生活学部 食物学科
准教授 米澤 加代
- 学生
生活共創学部 生活共創学科
1年生 20名
現代生活学部 食物学科
3年生 2名
4年生 4名 計26名
- 実施期間
令和7年5月～11月

学生食堂、食育料理教室での実施、学園祭での提供を行い、まちだすいとん普及および食育推進に関する取り組みを行いました。食育料理教室に参加してくれた小学生は全員まちだすいとんについて知らず、食べられない野菜も多かったが、食べられない野菜にも挑戦するなど、普及啓発および食育推進に貢献する機会となりました。